



神奈川県

KANAGAWA



神奈川県立

# かながわ農業アカデミー

高度な専門知識と技術を持った明日の神奈川農業を担う  
優れた人材の育成をめざし実践的な教育を行います



KANAGAWA Agriculture Academy

# 生産技術科・技術専修科について

## 本校の特色

### 基礎から応用までの実践教育

本校では、新しい技術を積極的に実践できる実力を持った、プロの農業経営者を育てることを目標としています。

そのために、体験を通して学ぶ実践教育を重視し、講義や演習で農業の知識や科学的理論を学びながら、ほ場での実習を行うことで、より高い学習効果を期待します。

課程	講義時間：実習時間
生産技術科	4：6
技術専修科	3：7



### 生産から販売までの実習

農作物の生産だけでなく加工や販売の実習を行うことにより、実践的な農業経営を学習することができます。

### 農業機械実習

小型農業機械や乗用トラクターについて、安全な操作と効率的・効果的な利用ができるよう知識、技術を習得できます。

### 充実した講師陣

試験研究や農業指導で実績のある職員をはじめ、民間等から多数の講師を招き、農業技術や経営に関する充実した授業を受けることができます。

また、先進農家等派遣研修においては、先進的技術を持った農業者等から直接指導を受けることができます。

### 農業経営に役立つ各種資格の取得

在学中、農業経営を行うために役立つ各種の資格や免許を取得することができます。

### 就農までをサポート

学生に対して就農に必要な情報の提供、青年等就農計画などの作成支援を受けることができます。

# 沿革

昭和18年11月	食糧増産のため中堅人物の育成を目的に「神奈川県立修練農場」として発足
昭和25年4月	農村青少年に農業経営上必要な知識・技能を伝達することを主眼に「神奈川県農業経営伝習農場」に改称
昭和46年4月	農業後継者育成の中心拠点として「神奈川県立農業大学校」として再編
平成8年4月	農業の技術革新・情報化・国際化などに対応できる農業後継者の育成を目的として「神奈川県立かながわ農業アカデミー」に改称

## 施設の概要

### 本館・実習用施設等

総面積：約13.2ha（ほ場：5.9ha、建物敷地：1.4ha、その他5.9ha）

施設：約14,061㎡（本館1棟：2,393㎡、学生寮2棟：4,138㎡、温室12棟：3,478㎡ほか）

本館	1階	公開講座研修室、講堂兼体育館
	2階	情報処理研修室、食品加工実験室、化学実験室、図書室、会議室
	3階	教室4室、生物工学実験室
実習用施設 (専攻別)	野菜	露地野菜ほ場、温室(5棟)、硬質フィルムハウス(4棟)、ビニールハウス(3棟)、現場教室棟、出荷調製棟
	花き	切花ほ場、切花温室(2棟)、鉢物温室(3棟)、緑化樹ほ場、現場教室、出荷調製棟
	果樹	ほ場、現場教室、資材庫
	独立就農チャレンジ	ほ場、現場教室、資材庫
その他	販売実習棟、機械研修ほ場、運転練習コース、学生寮ほか	



### 学生寮・食堂

敷地内に学生寮を整備しており、原則、生産技術科学生のうち希望者を対象に、食事付きの宿泊寮を利用することができます。通学生には着替えや学習ができる部屋を用意しています。また、食堂があり、給食として宿泊寮生は朝昼夕食を、通学生は昼食をとることとなっています。

宿泊寮	建物	地上3階 2,568㎡
	設備	居室(20㎡、ベッド、学習机、椅子、ロッカー、エアコン)、女子浴室、ロビー、談話室、洗濯室(洗濯機、乾燥機)、洗面所、テレビ、冷蔵庫
通学生寮	建物	地上3階、地下1階 1,570㎡
	設備	居室(学習机、椅子、ロッカー)、食堂、男子浴室(宿泊寮用)、談話室、和室、洗濯室(洗濯機、乾燥機)、洗面所

## 生産技術科（修業期間 2 年）

教養科目と農業の基礎から専門までの知識・技術を学びます。講義や専攻（野菜・花き・果樹の各専攻）に分かれて行う実習を通じて、生産、販売、経営の実践的な知識と技術を身につけます。

## 技術専修科（修業期間 1 年）

専門性の高い、高度で先進的な知識と技術を学びます。講義や専攻（野菜・花き・果樹・独立就農チャレンジの各専攻）に分かれて行う実習を通じて、卒業後すぐに就農できるよう、農業経営のノウハウを習得します。

課 程	入校定員	入 校 資 格
生産技術科	30人	高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者またはこれと同等以上の学力があると、かながわ農業アカデミー校長が認めた者
技術専修科	30人	入校しようとする日の属する年の3月31日において20歳以上の者

※ 利用する課程を問わず、入校希望者は、学校説明会への参加をお勧めします

※ 新規参入を希望する方は、入校前に本校での就農相談利用をお勧めします

## 専攻

生産技術科には野菜専攻、花き専攻、果樹専攻が、技術専修科には野菜専攻、花き専攻、果樹専攻、独立就農チャレンジ専攻が設置されています。

各専攻において、実習やプロジェクト学習、卒業論文の作成等を行います。

## 野菜専攻

露地では、ナス、キュウリ、ピーマン、キャベツ、スイートコーン、ホウレンソウ、コマツナ、ダイコン、ジャガイモなど、一年を通じて野菜の栽培技術を学ぶことができます。また、施設では、トマト、キュウリの土耕栽培のほか、トマトの養液栽培、イチゴの高設栽培などの技術を学習することができます。

収穫した野菜は、校内の直売所等で販売実習を行うとともに、市場出荷を行っており、出荷調製や販売技術についても学ぶことができます。



## 花き専攻

花き生産者・経営者として様々なニーズに対応できる総合的な能力を養成します。施設では、バラ、カーネーション、ストック、キンギョソウなどの切花や、パンジー、マリーゴールドなどの花壇苗、露地では、アスター、ヒマワリなどの切花やサルスベリなどの植木類を栽培し、幅広い花きについて実践的な技術を学ぶことができます。

また、直売や市場出荷に必要な花束・フラワーアレンジメントなどの販売技術も学ぶことができます。



## 果樹専攻

ナシ、ブドウ、キウイフルーツ、ウメ、カキ、ブルーベリーなど落葉果樹を主体に、果樹の生理生態についての理論を学習するとともに、整枝、剪定、夏期枝梢管理、受粉、摘花、摘果、病虫害防除といった栽培技術や、果実の収穫調整、出荷、販売を学びます。



## 独立就農チャレンジ専攻 (技術専修科にのみ設置)

農業後継者以外で、卒業後、神奈川県内において、露地野菜を主とした独立就農を目指す方を対象としています。就農時の露地野菜経営を想定し、自ら立てた栽培計画に基づき、学生一人一人が自分のほ場を栽培管理します。

生産物の収穫・調製も自ら行い、校内直売所等で販売することにより、実践的な経営力を養成します。



# 学科目

農業経営を行うために必要な科学的知識および技術習得ができるように学科目を作成しており、生産技術科は2年間で92単位以上、技術専修科は1年間で45単位以上の修得が必要です。

課程	専攻	学 科 目	
生産技術科	野菜 花き 果樹	教養教科	文章表現、実践数学、人間と社会、暮らしと法律、暮らしと経済
		専門教科	農業基礎、基礎情報処理、農業情報処理、農業経営管理演習、農産物加工、基礎農業機械、土壌肥料、植物生理、作物保護、農業簿記、ゼミナールⅠ・Ⅱ、課題学習Ⅰ・Ⅱ、農業政策、農産物流通、環境保全型・有機農業、農業気象、農業経営分析設計、実践情報処理、環境保全型農業演習、植物育種、植物生理演習、植物育種演習、スマート農業、園芸栽培演習、園芸環境工学演習、園芸経営演習、卒業論文
		選択教科	応用農業機械、花き装飾、農業経営演習、施設利用演習、農産物加工演習、毒劇物取扱
		実習	実習Ⅰ・Ⅱ、先進農家等派遣研修Ⅰ・Ⅱ
技術専修科	野菜 花き 果樹 独立就農 チャレンジ	専門教科	農業簿記、農業経営分析設計、土壌肥料、農業気象、基礎農業機械、農業法規、スマート農業、園芸栽培演習、植物生理演習、作物保護、ゼミナール、卒業論文
		選択教科	応用農業機械、農業情報処理、環境保全型・有機農業、農産物加工演習、毒劇物取扱、花き装飾
		実習	実習、先進農家等派遣研修

## 先進農家等派遣研修

先進的技術を持った農業者や農業法人の指導のもとで研修を行います。先進的な農業経営の実際や、生産物の流通実態を数多く見聞し、体験することで、生産技術だけでなく、ニーズに的確に対応できる経営者能力を養います。

課程		期間	研修日程
生産技術科	1年生	9日間	1～2月（9日間、週1～3日程度）
	2年生	47日間	5～12月、週1～2日程度
技術専修科		23日間	6～11月、週1日程度

※ 期間、日程は令和7年度の例

## 販売実習

生産から販売まで一貫した農業経営教育を行い、実践的な経営力を養成します。

校内直売所などにおいて、学生が実習で栽培した農産物を自ら対面販売をする販売実習を行います。



## プロジェクト学習（課題学習）

生産や販売について、自らテーマを決め課題を設定し、課題解決のための具体的な計画を作成、実践するプロジェクト学習を行います。成績優秀者は、関東ブロック大会や全国大会で学校代表として発表します。

近年の本校学生成績優秀発表課題（全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会）

- ・デルフィニウムにおける発芽条件の検討  
（R6年度 プロジェクト発表 研究課程 最優秀賞）
- ・直売に適したベビーリーフミックスの検討  
（R3年度 プロジェクト発表 研究課程 最優秀賞）
- ・ナス栽培における仕立数と収量等の比較について  
（R1年度 プロジェクト発表 研究課程 特別賞）
- ・農福連携の発展性（R1年度 意見発表 最優秀賞）

## 卒業論文

学習の集大成として、学習から得た知識と技術を生かして論文を作成します。農業後継者の学生は、自家農業の将来計画等について、それ以外の学生は、新規就農計画またはプロジェクト学習をさらに発展させた論文等をまとめます。



## 年間行事

月	主な行事（令和7年度の例）	
4月	始業式、入校式	
5月	健康診断、先進農家等派遣研修（生産技術科2年）	
6月	プロジェクト発表（生産技術科2年）、先進農家等派遣研修（技術専修科）	
7月	プロジェクト発表（生産技術科2年）、校内美化、終業式、オープンカレッジ	
8月	始業式、防災訓練	
10月	プロジェクト発表（技術専修科）	
11月	プロジェクト発表（技術専修科）、アカデミーまつり	【推薦入校試験】
12月	校内美化、終業式	
1月	始業式、関東ブロック実績発表会、先進農家等派遣研修（生産技術科1年）	【一般入校試験】
2月	全国交換大会・プロジェクト発表会、卒業論文発表	
3月	卒業式、校内美化、終業式	

## 1日の生活

宿泊寮生			通学生・宿泊寮生					宿泊寮生				
7:20	7:30   8:15	8:15	9:10   10:40	10:50   12:20	12:20   13:20	13:20   14:50	15:00   16:30	16:30	16:30   20:00	18:00   19:00	20:40	22:00
点呼	朝食	清掃	I時限	II時限	昼食	III時限	IV時限	入浴	夕食	点呼	消灯	

※ 専攻や時期により、I時限の前やIV時限の後に実習当番がある場合があります。

## キャンパスライフ

本校は、神奈川県の中核部、海老名市郊外の閑静な場所に立地し、緑に囲まれたキャンパスには、本館、ほ場、学生寮、食堂などが整備されています。

また、学生会活動やクラブ活動も行われています。

### 学生会活動

学生の自主運営による親睦活動を行っています。

また、同好の学生が集まり、球技部、料理部、撮影同好会が活動しています(令和7年度現在)。



### アカデミーまつり

毎年秋に同窓会との共催により「アカデミーまつり」を開催します。学生や卒業生が栽培した、農産物の即売や、学生による模擬店、体験イベントなどを催し、多くの来場者で賑わいます。



### 校外交流

全国農業大学校交換会（全国の農業大学校学生代表の集い）、関東ブロックプロジェクト発表大会に参加し、他校の学生たちとの交流を図っています。

## 免許・資格

### 在学中に取得可能な免許・資格

- ・大型特殊自動車免許（農耕車限定）※
- ・けん引免許（農耕車限定）※
- ・フォークリフト技能講習修了証
- ・車両系建設機械技能講習修了証
- ・刈払機安全衛生教育修了証
- ・毒物劇物取扱者
- ・農業簿記検定
- ・日本農業技術検定

※ 神奈川県内在住者に限る



### 卒業時の学歴免許区分

かながわ農業アカデミーは「学校教育法」（文部科学省所管）に基づく専修学校ではありません。したがって、短大と同様の卒業資格や4年制大学への編入学はできません。

【参考】本校生産技術科課程を卒業の場合、国家公務員においては、「人事院規則9-8（初任給、昇格、昇給等の基準）の運用について」により、学歴免許等資格区分が短大2卒として取り扱われています

## 修学に必要な費用

費用は入校料、授業料および教材費があり、この他、給食費や宿泊寮入寮者は水道光熱費がかかります。課程や宿泊寮入寮等により金額が異なります。

区分		生産技術科		技術専修科
		1年	2年	
入校料		5,650円	-	5,650円
授業料		118,800円	118,800円	118,800円
教材費	教材・資格取得等	68,000円	73,000円	93,000円
	その他（傷害保険料、 学校行事・卒業関係等）	42,000円	50,000円	37,000円
総額（概算）		<b>234,450円</b>	<b>241,800円</b>	<b>254,450円</b>
		<b>476,250円</b>		

（注）上記の他、資格取得を選択する場合、別途経費が必要となります（経費は令和8年度概算）

- ・大型特殊自動車（農耕車限定）免許試験手数料+交付手数料(4,350~5,250円)
- ・けん引（農耕車限定）免許試験手数料+交付手数料(4,350~5,250円)  
(交付手数料は運転免許証、マイナ免許証などの種類により異なります)
- ・車両系建設機械講習料（47,000円）

（注）上記の金額に加え、通学者は給食費（月額約8千円、昼食380円/1食あたり）、入寮者は水道光熱費（月額約5千円）と給食費（月額約2万円、朝食320円、昼食380円、夕食400円/1食あたり）等が必要になります

（注）上記すべての内容は令和8年4月時点のものであり、今後、変更することがあります

## 修学支援

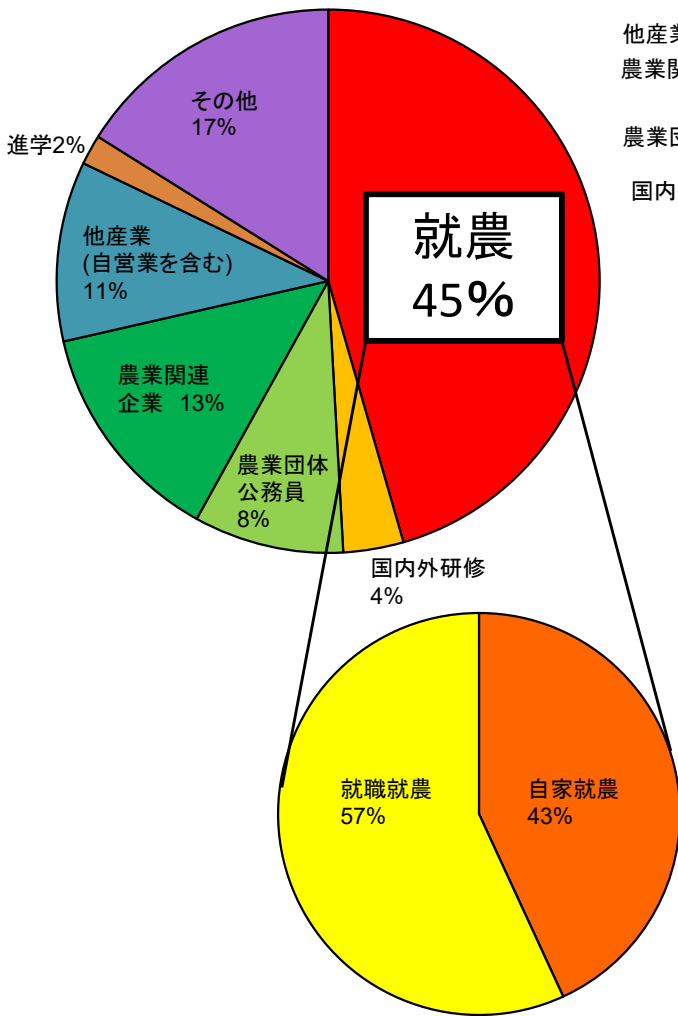
本校は学校教育法に基づく専修学校ではないため、文部科学省 高等教育の修学支援新制度および（独）日本学生支援機構奨学金制度は利用できません。

ただし、授業料の分割納付や納入猶予、生活保護世帯の学生等の授業料免除、授業料や教材費に活用できるアカデミー特例を利用した神奈川県内の各農業協同組合の無利子融資制度、卒業後に就農や農業法人に就職する学生には、就農に向けた研修を支援するための就農準備資金等の制度もあります。

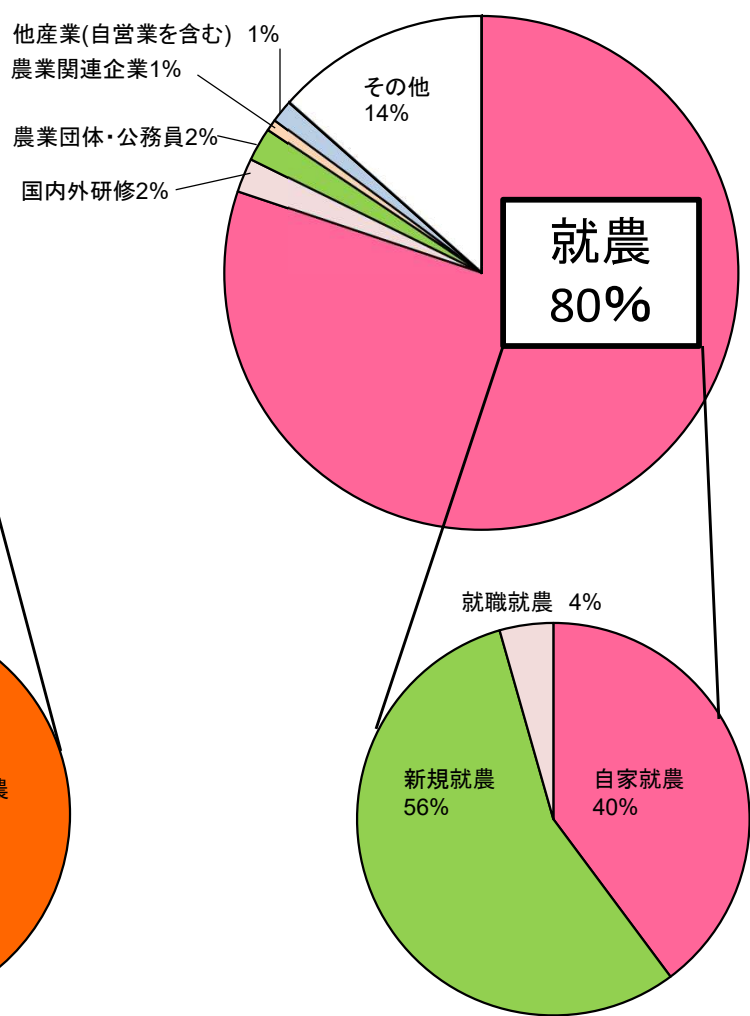
※制度ごとに要件等がありますのでご確認またはご相談ください。



【生産技術科】



【技術専修科】



卒業後の進路（令和3～7年度卒業生）

## 令和3～令和7年度卒業生の主な就農・就職先

- 【新規参入地】 横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、綾瀬市、南足柄市、葉山町、寒川町、中井町、湯河原町、山北町、二宮町
- 【就職就農】 伊藤農園、嘉山農園(株)、(株)グリーンファーム、(有)ジョイファーム、ねこやファーム、永田農園、長谷川農園、(有)ブライトピッグ、なんかいファーム、井出農園、平本農園、矢郷農園 など
- 【団体・企業】 県内農業協同組合、種苗メーカー、農機具メーカーなど

# 短期研修・就農支援について

## 短期研修

### 農業者のための研修

農業者が農業機械を安全かつ正確に使用するための知識や操作方法を習得する研修を実施しています。

研修名	研修内容
管理機・刈払機初心者研修	農作業安全、小型農業機械（管理機・刈払機）操作方法の基本に関する講義・実習を行います。
トラクタ初心者研修	農作業安全、乗用トラクタの運転操作、ロータリ耕の基本に関する講義・実習を行います。
農業機械安全研修（大特）	農作業安全、トラクタの安全運転操作、基本的な始業点検・日常保守管理技術等に関する講義・実習を行います。大型特殊自動車免許（農耕車限定）試験を行います。
農業機械安全研修（けん引）	農作業安全、農作業用トレーラ付トラクタの安全走行に関する講義・実習を行います。けん引免許（農耕車限定）試験を行います。

### 農作業を体験したい方向けの研修

将来、農業を目指す方や農作業を体験したい方向けの研修を実施しています。

研修名	内容
新規就農者育成研修 ・農業体験コース ・農福連携コース	将来、神奈川県内で就農することを検討している方を対象に、農業の魅力と現状を理解・体験する研修です。



## 就農支援

就農を目指す個人や法人等の農業参入について、就農のための基礎知識から県内市町村の情報まで、総合的な情報提供を行っています。

年間、個人が300名程度、法人は概ね30法人の相談があり、そのうち1割程度が農業に参入しています。

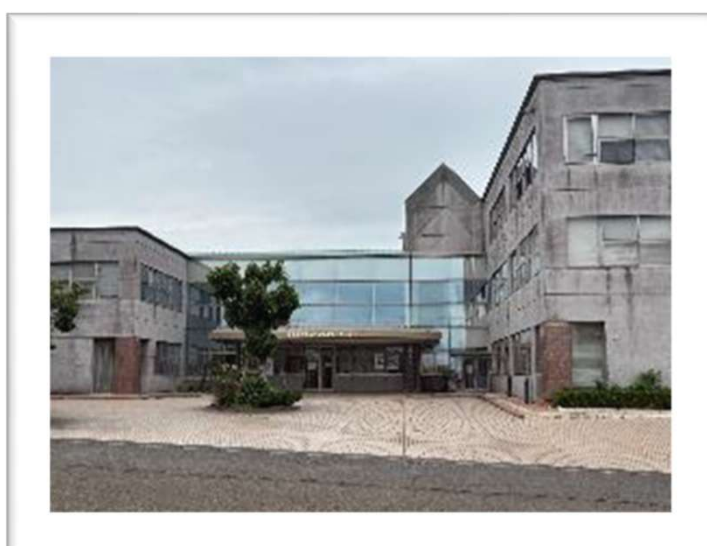
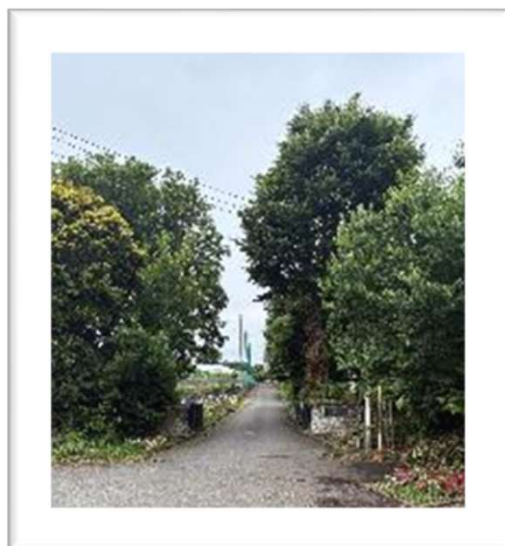
# 学校説明会

年に4回程度、「学校説明会」を開催しています。

本校の教育内容・特色、入校試験・出願方法の説明や校内見学など行います。

日程等につきましては、本校ホームページなどでご確認ください。

また、学校見学も随時行っていますので、お問い合わせください。



## 交通案内



### [電車・バスで来校される方]

小田急線・相鉄線・JR相模線海老名駅から相鉄バス約20分

②番のりば「綾31 大谷宿経由農大前」

③番のりば「綾23 下浜田経由農大前」

終点「農大前」下車徒歩1分

# 神奈川県立 かながわ農業アカデミー

〒243-0410 海老名市杉久保北5-1-1

TEL : 046-238-5274 (代表)

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/k5g/academy-top/index.html>

